小松市重点目標

　未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

**授業の質的改革**　→**資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成**

　　　　①児童生徒が　主体的・対話的に学習したくなる授業

　　　　②児童生徒が　自己の思考を深め，自己表現したくなる授業（思考力・記述力・発表力）

　　　　③児童生徒が　自己の学習をふりかえり，学びを実感できる授業

　　　**組織的な体制・環境づくり**　→**児童生徒に資質・能力を身に付けさせる教員の育成**

④教職員が　　目標や課題を共有し自己の役割に責任を持ち，課題の解決に取り組む

⑤教職員が　　授業力を高める。切磋琢磨し学校研究に取り組む

　　　　⑥教職員が　　児童生徒が主体的に活動できるように環境を整える

　令和５年度　学校評価重点計画

　　　　　　　　小松市立中海小学校

 　　　　　　　　　　学校長 　山本　亜貴乃

既習，知識と体験，資料，友達の意見等を結び付け，考えを深める

目指す児童生徒像「**豊かな心と学ぶ力を身につけた，心身ともにたくましいかすかみっ子」**

・自分や友だちのよさを認め，よいと思うことを主体的に表現できる児童（なかよく）←生活面

・学ぶ意欲を持ち，「見方・考え方」を働かせて学び方（主体的・対話的・学びを深める）を身につけた児童（かしこく）

目的に向かい、自ら方法を考え、振り返りながら追求する

・人を思いやる言動ができる児童（うれしくなる行動）

・自分や友だちの考えを尊重し，協働的に話し合い，実践しようとする児童（みんなで高め合う）←

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学習面

（１）学校の課題

・学習に向かう力はついたが，学力の定着において未だ学年差や個人差がある。

・「読むこと」「書くこと」に苦手意識がある児童が多い。

（２）具体的な方策と検証・・・学力向上は県センターより出ているプリントで検証

・音読活動及び学習との並行読書や調べ学習を含めた読書活動を推進する。

・ICTを効果的に活用した取組により，個別最適な学びと協働的な学びの一体化を探る。

・学校研究を通して教師の実践意欲を高め，授業力・育成力・形成的評価（見取り）力の向上を図る。

・課題設定から振り返りまでの過程を大切にし，考え方・学び方を児童に身につけさせる。短期的に重点取組を決め，公開や授業研究の振返りによる検証をしながら全体で徹底した取組をする。

・生活科や総合的な学習において，「課題設定→情報収集・調査・観察・実験→整理・分析→まとめ・発表→」の学習過程を確実に実践し児童に充実感・達成感を味わわせる。**→他教科にも→主体性の向上**

・授業や行事の企画・運営等で主体的な児童（会）活動ができるよう指導と支援を行い，充実感や達成感，協働することのよさや楽しさを味わわせる。**→主体性の向上**

・家庭と連携し，家庭学習において学習内容の定着を図れるよう方法と内容を追求する。